



東長崎

—ひがながプライド—

HIGANAGA PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校

学校だより 第 8 号

令和 4 年 9 月 8 日発行

副校長 川口昌文

勉強に部活に頑張っています

長いようで短い、短いようで長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。相変わらず欠席者が多い状況ですが、大きなけがや病気の報告もなく、無事学校生活が始まっています。2学期は1年間の中でもっとも長い学期で、行事も多く予定しています。現在は、9月30日にある合唱コンクール、10月5日にある長崎市中総体駅伝競技に向けて、学校を挙げて取り組んでいるところです。

そして、8月末までにも、本校3年生が取り組んだ HIGANAGA フォーラムや、各部活動等で参加した市・県・九州・全国大会において、本校生徒の活躍がありました。今号では、「HIGANAGA フォーラム」をご紹介します。

HIGANAGA フォーラム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



「SDGs (イディーズ)」という言葉をご存じの方も多と思います。日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれており、世界共通の目標です。貧困や飢餓、教育、エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消、地球環境や気候変動など、今の子どもたちが将来生きている社会には、多くの課題が残されています。

そこで、よりよい社会の実現をめざして、本校では総合的な学習の時間を通して、全学年で「SDGs」について学んでいます。特に3年生では、その「SDGs」に関する取組を、生徒たちが住む長崎をよりよいものにするためにできることを目標とし、いくつかのグループに分かれ活動してきました。

「HIGANAGA フォーラム」では、この学びの成果を、3年生でなく、下学年も含め、より多くの人に知ってもらい、より多くの人に広げるために開催しました。ご参加いただいた保護者の皆様、生徒たちの学びのためにご協力いただいた地域の方々、本当にありがとうございました。

HIGANAGA フォーラムのようす

1 オープニングセレモニー

開会式では、音楽部がきれいなハーモニーで「夢みたものは」「ぜんぶ」の合唱を披露しました。歌詞にある「大切なものは全部ここにある」「当たり前な気持ちとはSDGsの考え方にも通じるものがあると考えます。すばらしいオープニングとなりました。



2 各班(コース)の発表

(1) 環境問題コース

八郎川やその周辺のごみ拾いやてらているごみの調査、東工場見学や取材等とおして、ごみの種類やリサイクル、東工場のシステムなどをまとめ、発表しました。パワーポイントを使ったプレゼン方式やクイズ番組仕立てでの発表などがありました。情報が整理され、わかりやすい発表でした。牛乳パックや段ボール、ペットボトル等を使った作品も展示されていました。



左写真の目線や名札は、個人情報保護の観点から生徒が気をきかせて消してくれました

(2) 町おこしコース

東長崎地区を一層盛り上げるためにどのようなことが必要なのか、町の人やお店へ取材を行いました。取材の中で、「東長崎をよりより町にするために、大人になったら地元で貢献してほしい」という意見もいただけていました。成長して地元に残る生徒、市外県外に出る生徒と様々だと思いますが、いろいろな形で地元で貢献できる方法があるはずで、自分たちが育ててもらった東長崎地区を、いっそう子育てしやすい街、住みやすい町にしてくれることを期待します。郷土の想いを受け止めた、たいへんよい発表でした。



(3) 平和芸術コース

3.5m×7.8mの巨大なキャンパスに平和芸術コースで独自で考えたデザインを描きました。デザインや色遣い一つ一つに意味を込められています。小さいキャンパスでも描くのに時間がかかり、バランスをとるのも難しいのに、見事なものができあがりました。現在、校内に飾れる場所を検討中です。ゲルニカの歴史についての発表もありました。



(4) 共生コース

外国人や高齢者、障がい者との共生について、様々な活動を通して学びました。

外国人との共生コースでは、実施に日本にきている外国人への取材を行いました。日本に労働目的で来ている外国人も多く、これからは今以上に外国人と一緒に学んだり、働いたり活動する機会も増えていくことが予想されます。海外と日本の文化の違いを認め合うことの大事さを発表していました。

高齢者との共生コースでは、高齢者の疑似体験セットを用い、生活するうえで高齢者が不便に感じたり、身体能力が低下して困ったりすることを学びました。日本の高齢化はますます進みます。高齢者に対する支援の在り方について学びました。



障がい者との共生コースでは身の回りにある、バリアフリーやユニバーサルデザインなどを中心に、障がい者もそうでない人もともに不便を感じない社会にしていこうと学びました。「校内にあったらいいオリジナルピクトグラム」などもデザインしていました。



どの班(コース)も見ごたえのある発表で、あっという間に時間が過ぎました。3年生のみならず、ありがとうございました。今回の「HIGANAGA フォーラム」は第1回目になります。東長崎中の新しい文化行事として、来年、再来年と、今の1、2年生が引き継ぎ、更に学びを深めていってくれることを期待しています。